

令和8年度 動物由来感染症技術研修会

京都府におけるSFTS対策

～動物由来感染症サーベイランスの実践から～

京都府 文化生活部生活衛生課 動物愛護係 岡本

はじめに

- ❁ 京都府では、2004年から「人と動物の共通感染症予防体制整備事業」に取り組んでいます。
- ❁ その一環として、動物由来感染症に関するサーベイランスを行い、得られた情報を関係機関で共有・研修し、予防啓発に活用しています。
- ❁ 今回は、SFTSについて、動物側の情報が地域の感染リスクの把握や予防啓発につながった事例を紹介します。

人と動物の共通感染症予防体制整備事業

動物由来感染症サーベイランス事業

1 定点動物病院からの情報収集・還元事業

毎月、動物由来感染症に関する情報を収集・還元

2 積極的疫学調査

動物愛護センターで保護された犬猫を対象に、保健環境研究所で病原体検査を実施



情報の共有化や研修

3 人と動物の共通感染症予防対策連絡調整会議

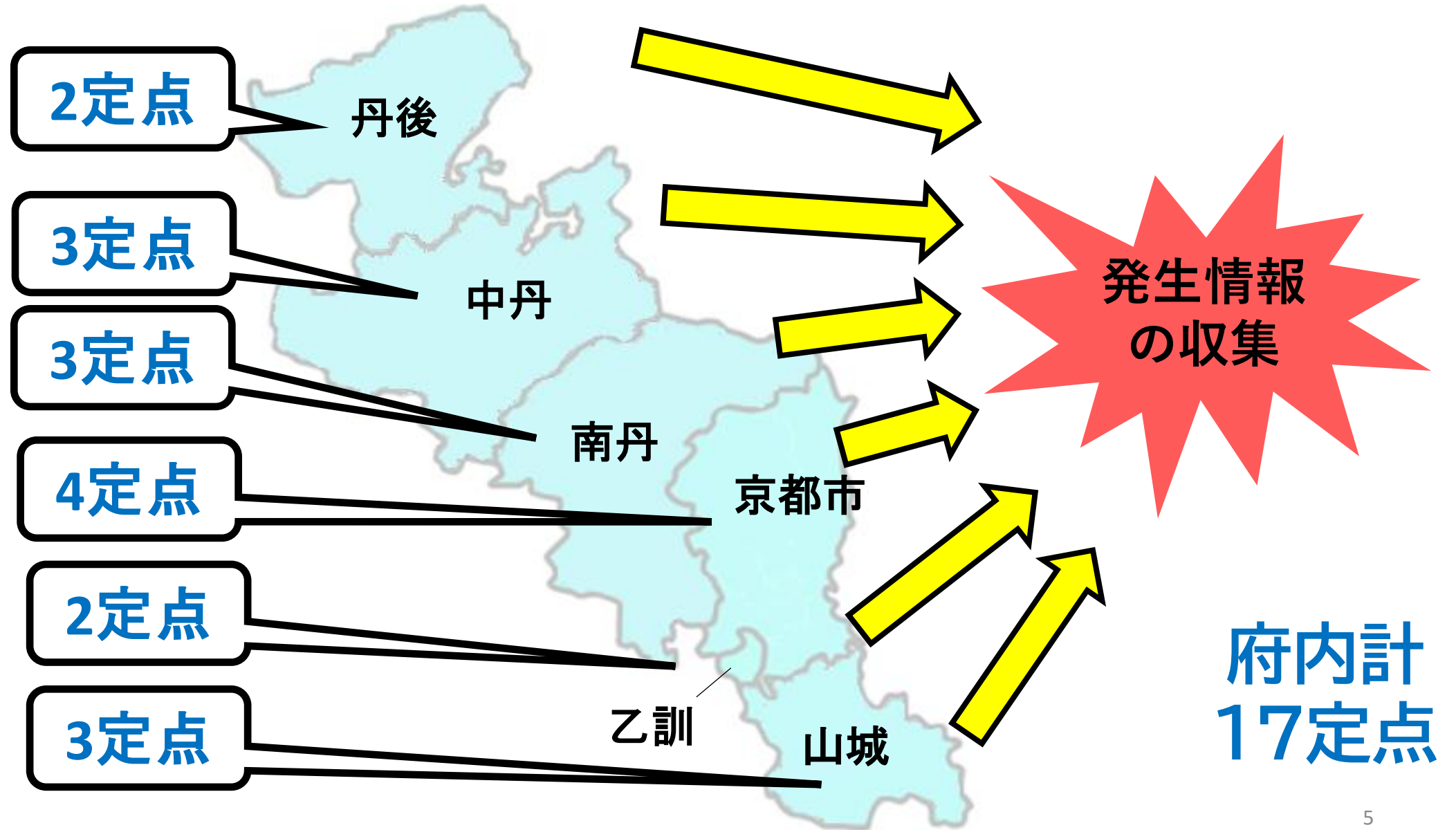
動物由来感染症サーベイランス事業

動物由来感染症発生届出

1 定点動物病院からの情報収集・還元事業



動物由来感染症の発生情報の収集・分析



定点動物病院からの情報収集・還元事業

【開始時期】 2004(H16)年 20年以上継続

【事業名】 人と動物の共通感染症予防体制整備事業

【委託契約】(年単位)

公益社団法人 京都府獣医師会

公益社団法人 京都市獣医師会

【報 告】 毎月、ファックスまたはメール

【区 分】 成犬、子犬、成猫、子猫、その他の動物

毎月の情報収集項目

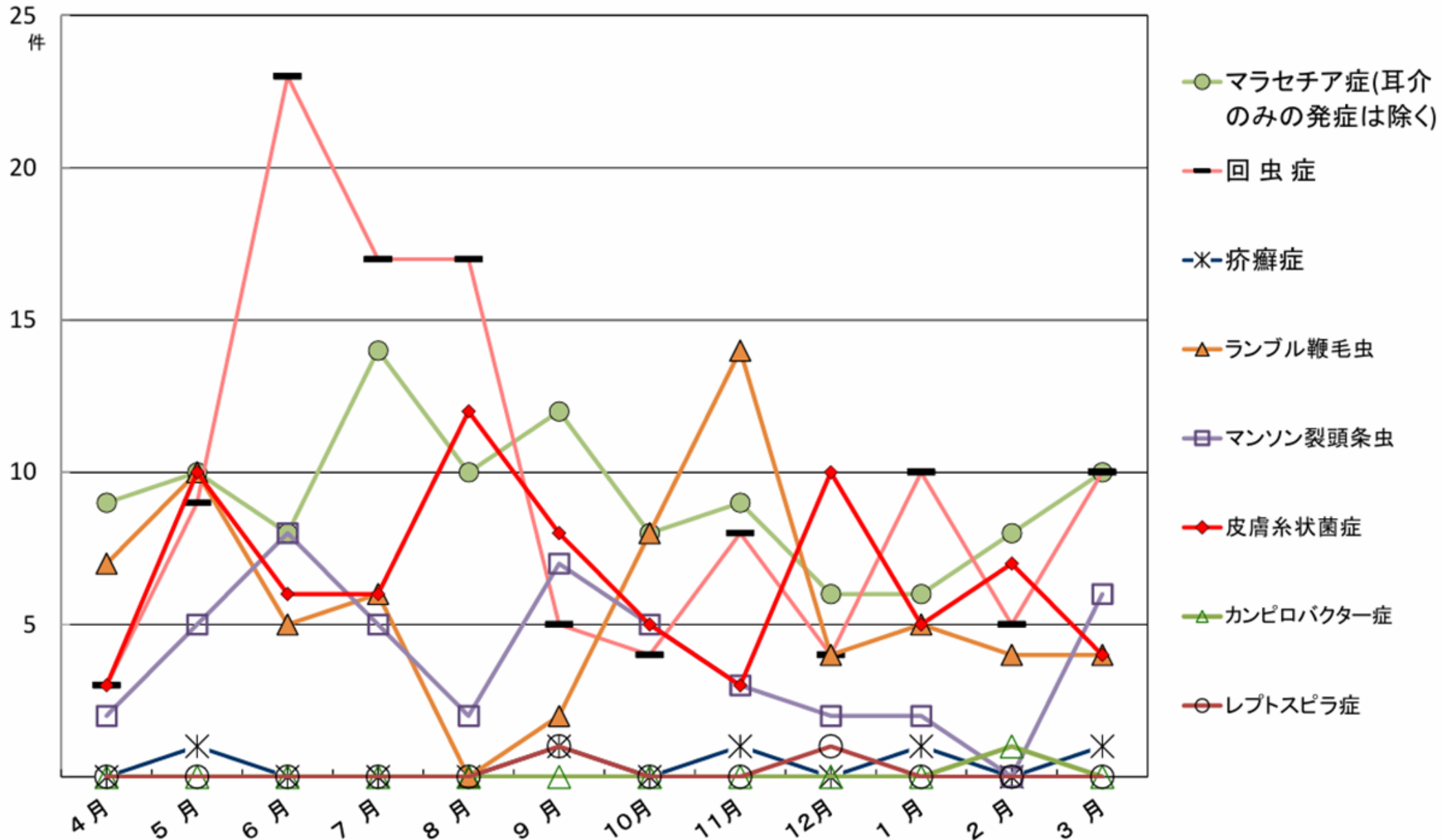
・SFTSは2015(H27)年
から報告対象
・2027(R9)年から
様式変更予定

		動物由来感染症発生動向調査報告書【 年 月分】																				報告者					
主体区分	関係法令	ウイルス				クラミジア	細菌					原虫		真菌		寄生虫					その他 共通感染症			計			
病名	動物	④ SFTS	④ 家ガ 狂犬病	② 家 ※鳥インフルエンザ (H5N1)	④ 家 ※H5N1を除く鳥インフルエンザ	④ ガ オウム病	② 家 結核	④ 家ガ ブルセラ症	④ 家ガ レプトスピラ症	家ガ カンピロバクター	家ガ パスツレラ症	ガ エルシニア菌症	⑤ ランブル鞭毛虫 ／ジアルジア症	家ガ トキソプラズマ症	ガ 皮膚糸状菌症	マラセチア症 (耳介のみの発症は除く)	④ ガ エキノコックス症	ガ 回虫症／幼虫移行症	ガ 東洋眼虫	ガ 鉤虫	ガ 顎口虫	疥癬症 (耳疥癬症は含めない)	マンソン裂頭条虫				
成犬																											0
幼犬 6ヶ月未満																											0
成猫																											0
幼猫 6ヶ月未満																											0
																											0
																											0
計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

注) ※鳥インフルエンザの中で新型インフルエンザ等感染症に該当する場合は右欄に○を記入してください。

○数字:感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律における分類
家: 家畜伝染病予防法 ガ: 人と動物の共通感染症に関するガイドライン

動物由来感染症の発生情報の分析・還元



令和7年度動物由来感染症発生状況調査報告 (月別考察 一例抜粋)

▶ 6月；丹後地域でヒトのSFTS発症の届出が1件あり、今年度は3件目になります。

▶ 7月；丹後地域において、猫のSFTSの発生報告がありました。発症した猫は、ネズミを捕るような外飼いの猫だったとのことです。

▶ 11月；京都市内で「家畜伝染病予防法」に基づく犬のレプトスピラ症の届出がありました。今年の9月に京都市、福知山市、舞鶴市でも犬のレプトスピラ症の発生届が出ています。一方でヒトのレプトスピラ症については、「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律」に基づき、9月に京都市内で2件、11月に南丹市で1件の症例が報告されています。

▶ 12月；12月24日に亀岡市の養鶏場で高病原性鳥インフルエンザが発生し、防疫作業の結果、12月30日に防疫措置が完了しました。京都府で高病原性鳥インフルエンザが発生するのは21年ぶりになります。

動物由来感染症サーベイランス事業

2 積極的疫学調査



積極的疫学調査



京都府動物愛護センター

- 【開始時期】 2010(H22)年
- 【検査機関】 京都府保健環境研究所
- 【対象動物】 京都府動物愛護センター
搬入イヌ及びネコ
- 【検体数】 年40件程度
- 【検査項目】
 - ・2015(H27)年まで病原性大腸菌
O157、カンピロバクター、レプトスピラ
 - ・2016(H28)年からSFTS

サーベイランスの結果は府のホームページで公開



京都府

⚠ 緊急情報

⚙ 閲覧支援

🔍 情報を探す

Google カスタム検索 検索

京都府の広報

– 防災・防犯・安心・安全

– 暮らし・環境・人権

– 子育て・健康・福祉

– 産業・雇用

– インフラ

– 文化・スポーツ・教

[トップページ](#) > [暮らし・環境・人権](#) > 動物由来感染症サーベイランス事業

動物由来感染症サーベイランス事業

動物由来感染症サーベイランス事業について

人と動物の共通感染症（動物由来感染症）の発生動向を調査して、今後の流行予測や発生を予防するために、動物由来感染症サーベイランス事業を行っています。

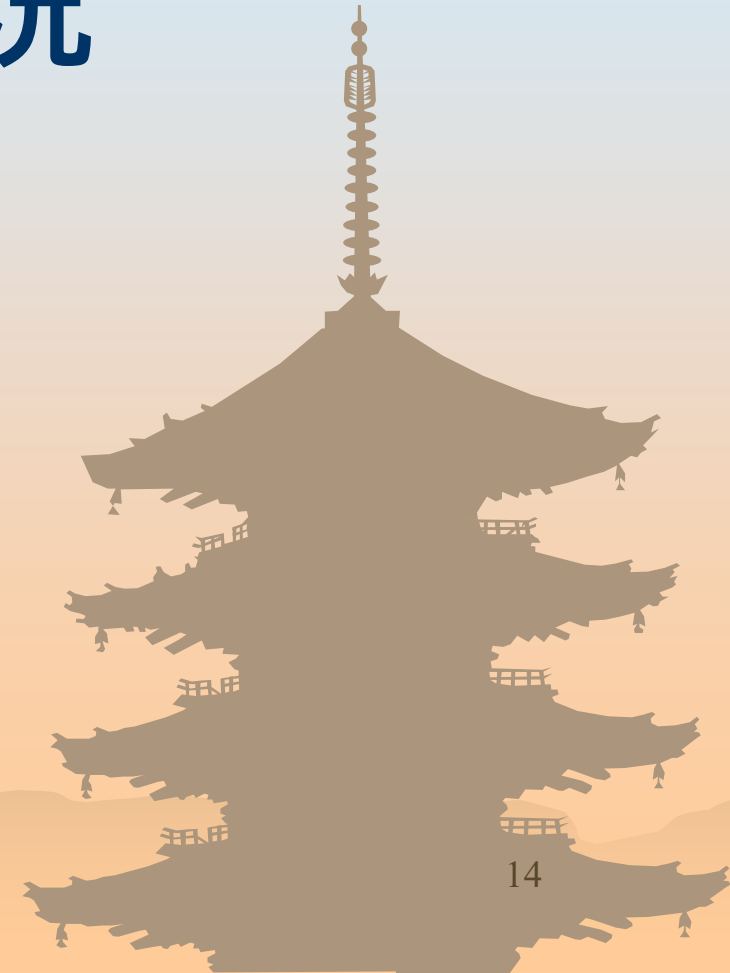
動物由来感染症サーベイランス事業の流れ

発生動向調査の実施	
感染症臨床診断	疫学調査
京都府獣医師会・京都市獣医師会 17 動物病院	動物愛護センター (検体採取)

重症熱性血小板減少症候群(SFTS)について

- ❁ 2011 (H23)年、中国で初めて報告されたSFTSウイルスによるマダニ媒介性感染症
- ❁ 2013(H25)、日本で初めて患者が確認され、その後、国内で発生が継続
- ❁ 重症化すると死亡することがある。
- ❁ 国内届出症例における致命率:約27%
- ❁ マダニの刺咬が主な感染経路。感染したイヌ・ネコからヒトへの感染も報告あり
- ❁ 感染症法上の四類感染症(全数把握)

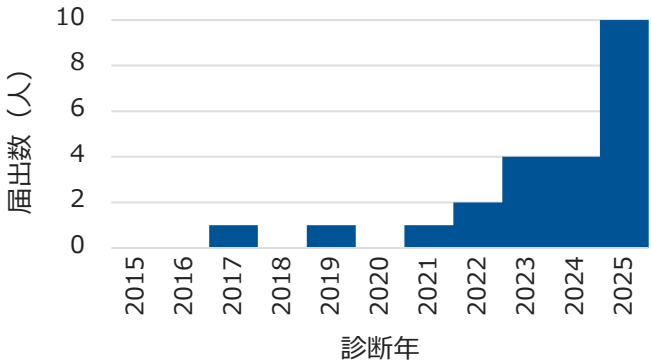
近畿地方における ヒトのSFTS発生状況



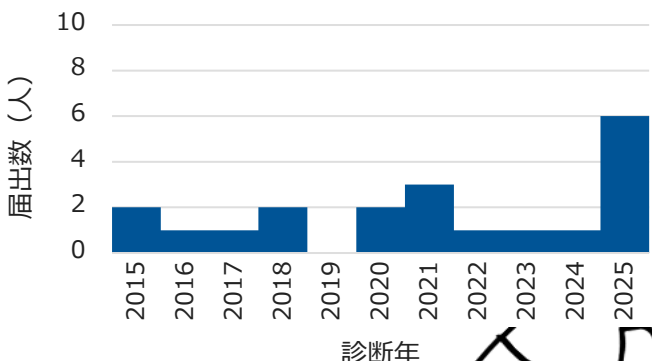
京都府に隣接する府県におけるSFTS報告状況

各都道府県の年報・週報から引用

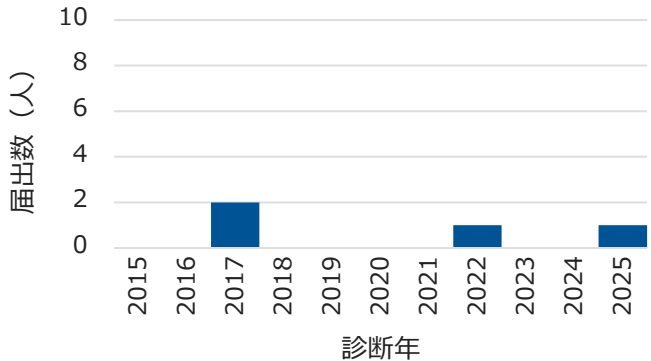
兵庫県



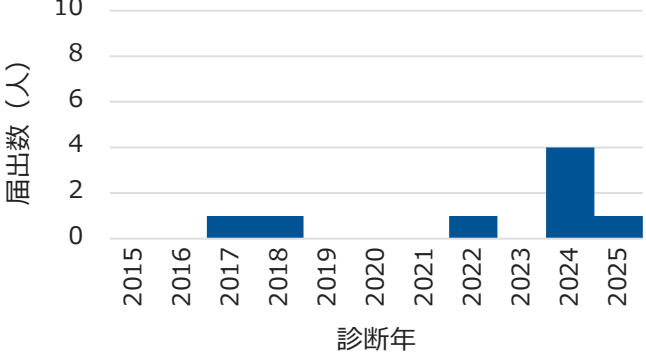
京都府



福井県



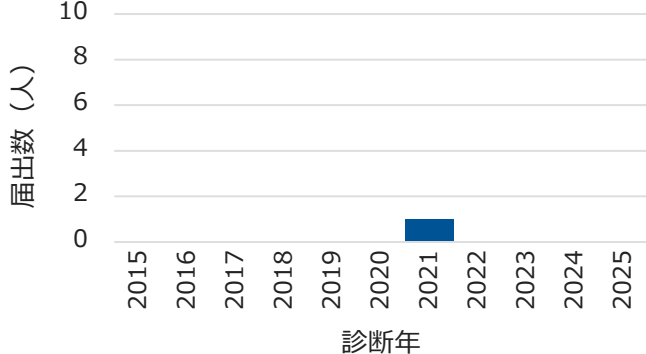
大阪府



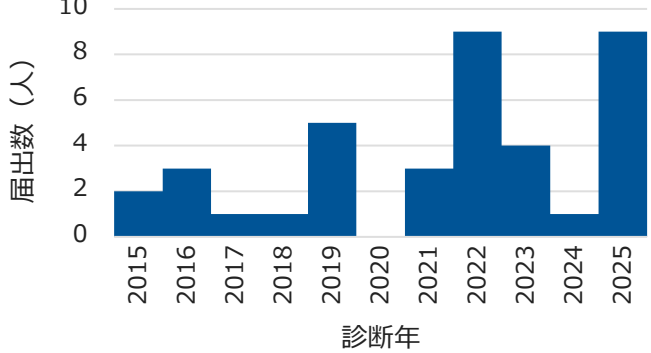
奈良県



滋賀県



三重県

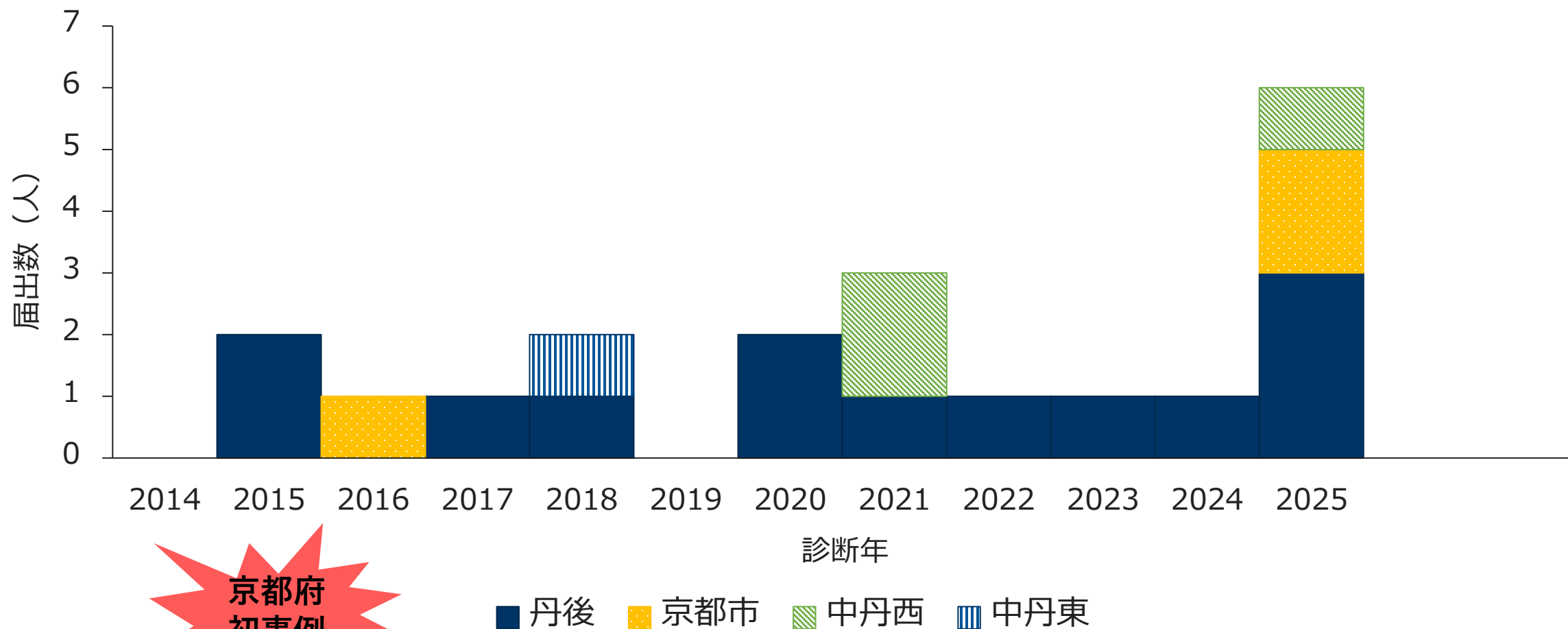


京都府における ヒトのSFTS発生状況

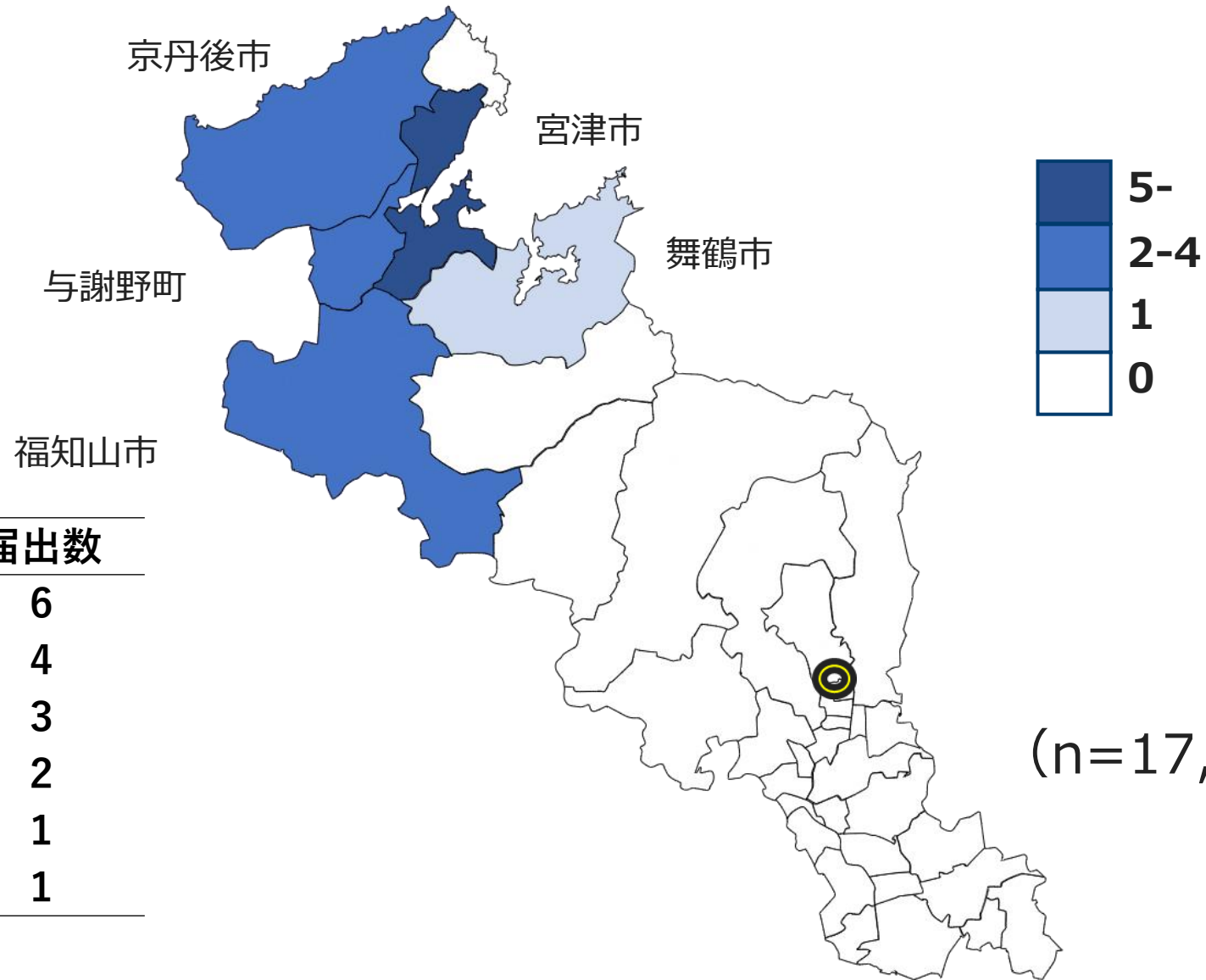


ヒトのSFTS報告状況－京都府

SFTSの届出数推移（京都府,2025末,n=20）



ヒトのSFTS推定感染地域



推定感染地域	届出数
宮津市	6
京丹後市	4
福知山市	3
与謝野町	2
舞鶴市	1
京都府外	1

動物由来感染症サーベイランス事業 1

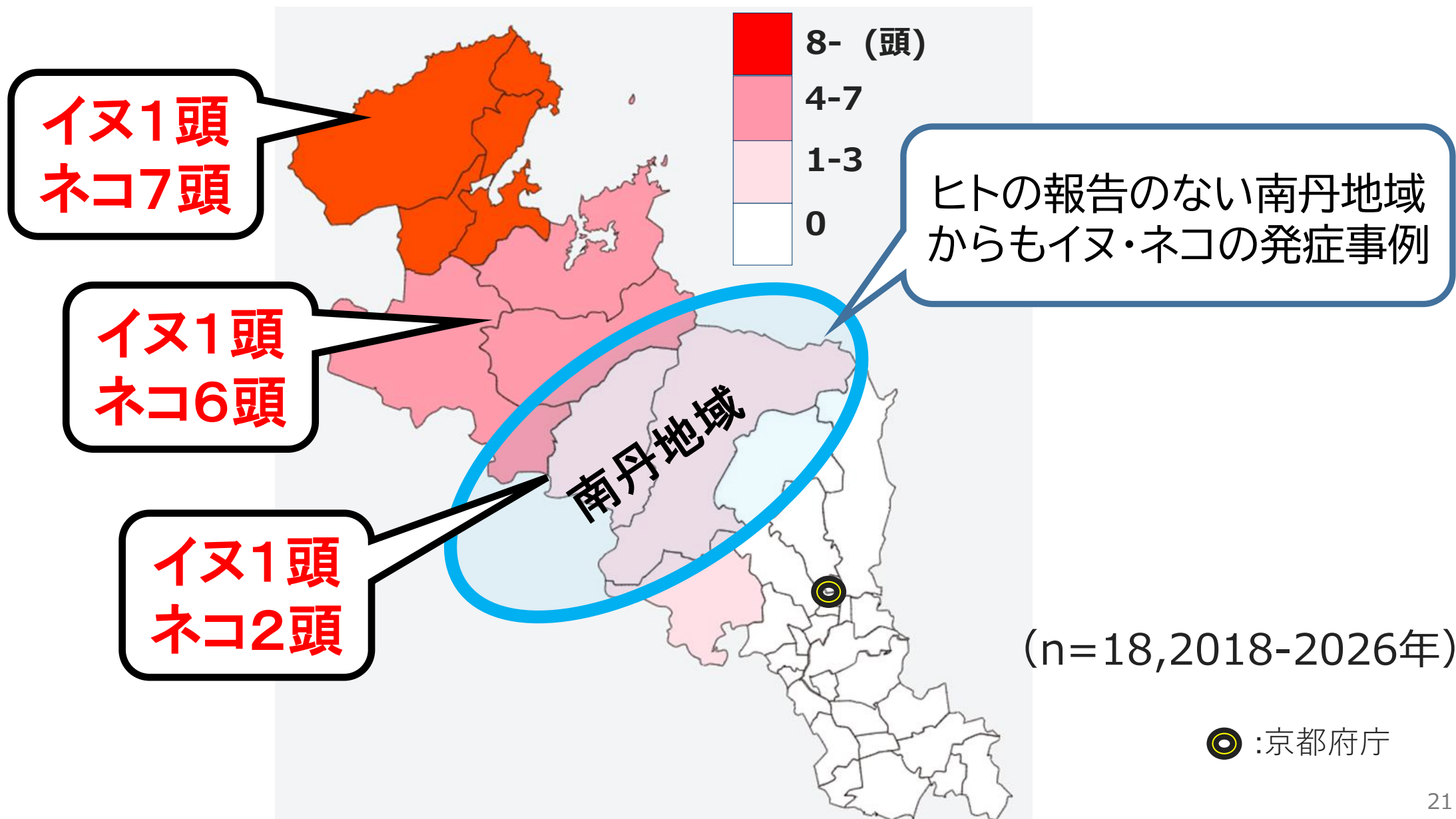
SFTSの発生報告の状況

1 定点動物病院からの情報収集・還元事業

サーバイランス定点動物病院からのSFTSの報告件数

地域		山城地域	乙訓地域	京都市域	南丹地域	中丹地域	丹後地域	合計
年度	動物種	3 定点	2 定点	4 定点	3 定点	3 定点	2 定点	
2015	犬							0
	猫							0
2016	犬							0
	猫							0
2017	犬							0
	猫							0
2018	犬							0
	猫					1	1	2
2019	犬					1		1
	猫					1		1
2020	犬							0
	猫					2		2
2021	犬				1			1
	猫						1	1
2022	犬							0
	猫					2		2
2023	犬						1	1
	猫				1		2	3
2024	犬							0
	猫				1		1	2
2025	犬							0
	猫						1	2
2026	犬							0
	猫						1	1
合計	犬				1	1	1	3
	猫				2	6	7	15
	総計				3	7	8	18

定点動物病院からのSFTSのイヌ・ネコの報告件数



動物由来感染症サーベイランス事業 2

積極的疫学調査結果



積極的疫学調査 SFTSV抗体保有状況調査

【調査期間】 2016年(H28)から現在に至る

(※2015(H27)年国立感染症研究所に職員を派遣しプロトコール確立)

【対象動物】 動物愛護センター搬入犬及び猫

【検査項目】 血清中のSFTSV抗体

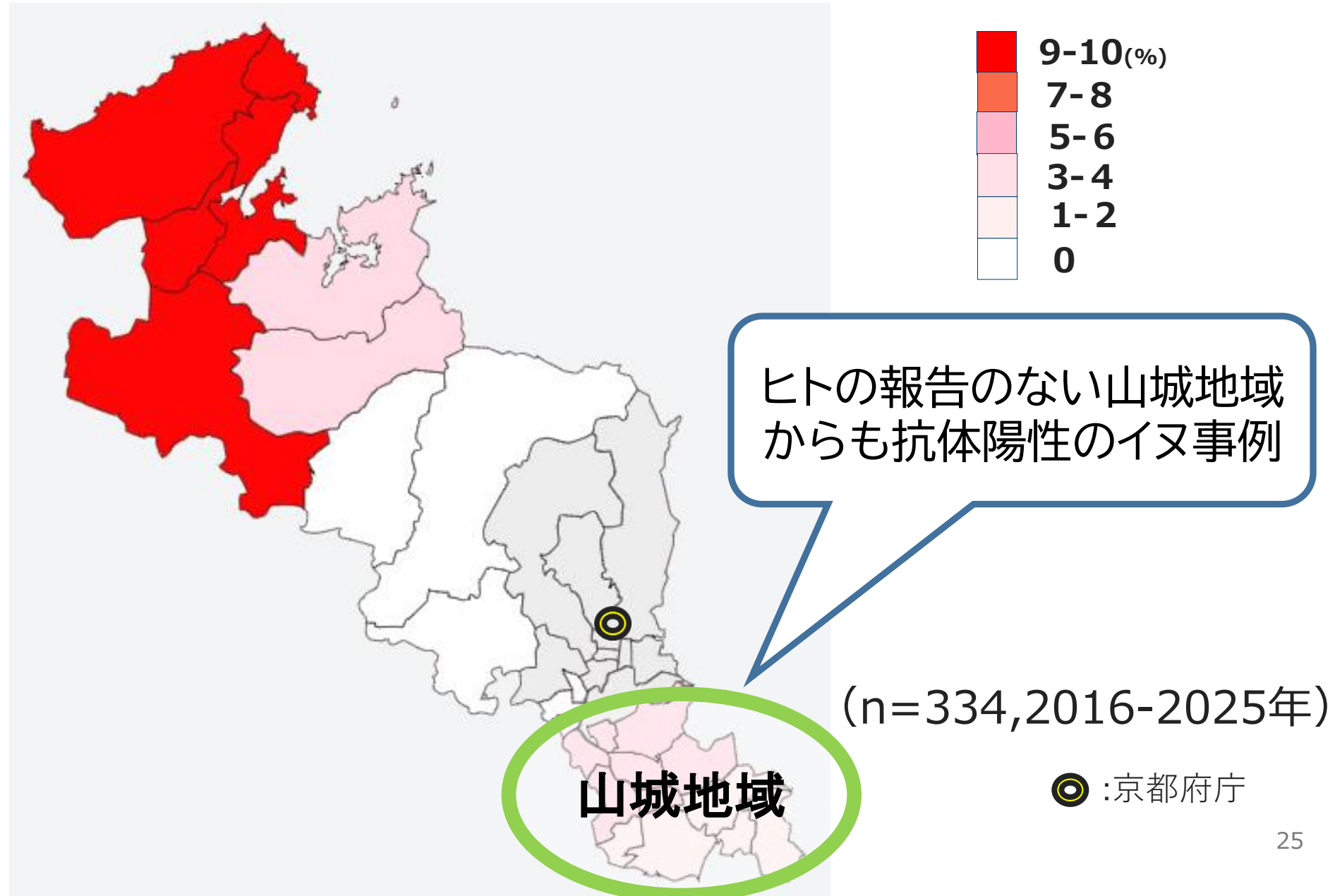
【検査方法】 SFTSV-ELISA法

【総検体数】 372検体(犬:334 猫:38)

保護犬の保健所別陽性状況

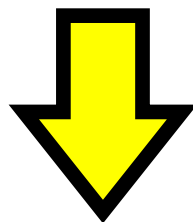
保健所名 年度	山城南		山城北		乙訓		南丹		中丹西		中丹東		丹後		計	
	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数	検査数	陽性数
2016	8	1	5	1	1	0	14	0	4	0	3	0	5	0	40	2
2017	17	0	25	0	3	0	18	0	5	0	5	0	4	0	77	0
2018	15	0	4	1	1	0	12	0	4	1	1	0	2	0	39	2
2019	5	0	20	0	1	0	4	0	7	1	3	0	0	0	40	1
2020	9	0	7	0	1	0	3	0	4	0	6	0	1	0	31	0
2021	7	0	4	0	1	0	2	0	0	0	1	0	1	0	16	0
2022	7	0	8	0	0	0	1	0	1	0	3	1	1	1	21	2
2023	3	0	8	0	1	0	4	0	3	0	7	0	2	1	28	1
2024	6	0	8	1	0	0	1	0	2	1	1	0	2	0	20	2
2025	2	0	6	0	0	0	1	0	4	0	6	0	3	0	22	0
計	79	1	95	3	9	0	60	0	34	3	36	1	21	2	334	10
陽性率	1.3		3.2		0		0		8.8		2.8		9.5		3.0	

イヌSFTSV抗体保健所別 陽性率マップ



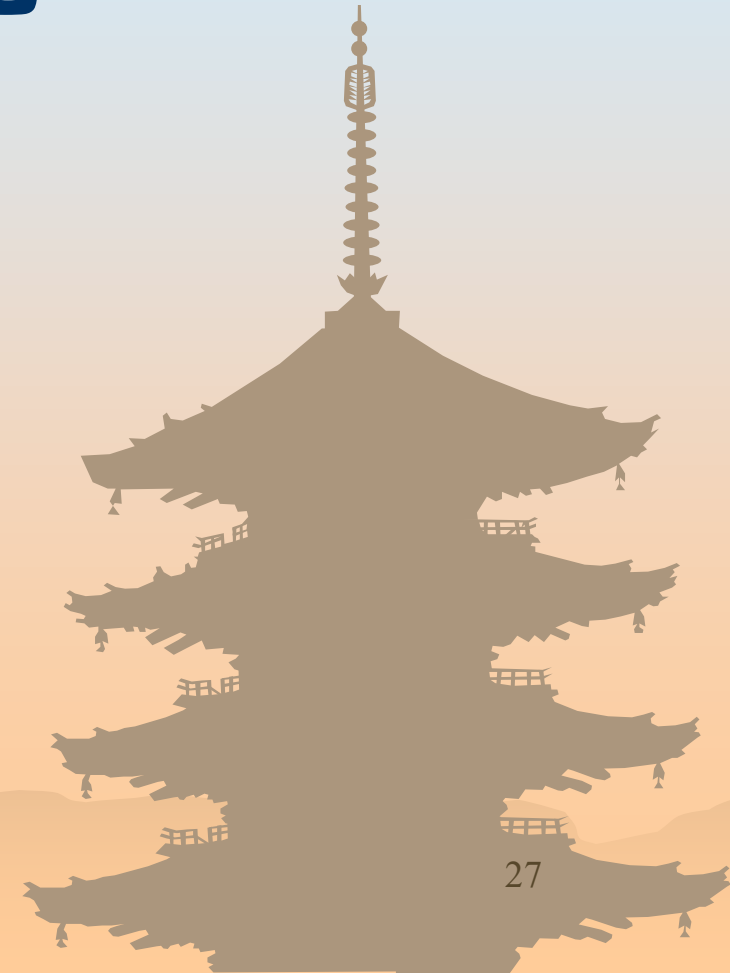
考 察

- ・2025(R7)年7月までSFTSは、ヒトの発生状況に注目すると、府北部に限局された感染症に見えた。
- ・一方、動物では、ヒトの届出がない地域からもSFTS発症例やSFTSV抗体陽性例が確認された。
- ・このことから、ヒトの患者発生情報だけでは捉えにくい地域にも、SFTSVへの曝露リスクが存在する可能性が示唆された。



府内全域を対象に幅広く予防啓発を行う必要

SFTSの予防啓発



人と動物の共通感染症予防対策連絡調整会議

	名 称 ・ 所 属	
1	(一社) 京都府医師会	
2	(公社) 京都府獣医師会	
3	(公社) 京都市獣医師会	
4	京都府動物愛護推進協議会	
5	府庁内関係課	健康福祉部 感染症予防・対策課
6		総合政策環境部 自然環境保全課
7		文化生活部 文教課
8		健康福祉部 こども・子育て総合支援室
9		農林水産部 畜産課
10		農林水産部 農村振興課
11	教育委員会	指導部 学校教育課
12		指導部 特別支援教育課
13		指導部 保健体育課
14	保健環境研究所	
15	動物愛護センター	
16	京都市保健福祉局医療衛生推進室	
17	事務局	文化生活部 生活衛生課

連絡調整会議におけるダニ感染症研修会



2023. 9. 13開催

2017(H29)年 ペット向け啓発チラシ作成

ペットのマダニによる感染症に注意しましょう!!

☆予防対策: マダニにかまれないようにしましょう!

- 日頃から、ペットには、動物病院と相談してマダニ予防薬を処置してください。(予防薬は、飲み薬、スポット、スプレー、首輪タイプなどあります)
- 犬は、散歩から帰った後、耳、目の周りなど顔、お腹、足回りなどにマダニが寄生していないか確認ください。(目の細かいクシをかけることも効果的です)

要チェック! ダニの寄生しやすい主な部位!



☆猫は室内飼育を徹底しましょう

猫の屋外での放し飼いは、ダニの寄生だけではなく、交通事故、迷子・猫の感染症(猫白血病、猫エイズなど)など危険がいっぱい!

(参考) (京都府・京都市平成27年度データ)

- 交通事故死した猫の推計頭数  6,730 匹
- 保護・引き取られた猫の殺処分頭数  1,148 匹

☆ペットがマダニにかまれたら

マダニが皮膚内に食いついている場合は、無理に引き抜かず、動物病院へ! 発熱などの症状が見られた場合も動物病院を受診してください。

【ペットとは正しい距離を保ちましょう】

ペットには、さまざまな動物由来感染症も知られています。口移してエサを与える・ペットを布団に入れて寝るなどの濃厚な接触は避け、ペットとは節度あるつきあいをしましょう。

重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) とは・・・裏面へ→

マダニにかまれて感染する新しい感染症
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)

2017. 7. 25 朝日新聞

野良猫にかまれ発症? 死亡した新聞記事

2017. 7. 25 読売新聞

Q SFTSとは?

A マダニに咬まれて感染するウイルスによる病気です。症状は発熱、全身倦怠感、おう吐、下痢などです。

Q 患者はどれくらい発生していますか?

A 日本では、2013年(平成25年)に初めて患者発生が報告されて以来、西日本を中心に既に患者280名、うち死者58名が確認されています。
(国立感染症研究所ホームページ平成29年7月26日現在)

Q ネコやイヌからSFTSウイルスに感染する危険性がありますか?

A 健康なネコなどからヒトに感染することはありません。また、屋内のみで飼われているネコについては、SFTSウイルスに感染する心配はありません。体調不良のネコやイヌからSFTSウイルスが検出されたこと及び、発熱、食欲喪失などの症状がある屋外のネコにかまれたヒトがSFTSを発症し、亡くなられた事例があったことをふまえ、2017年(平成29年)7月厚生労働省から注意がよびかけられています。

※マダニには、SFTS以外、日本紅斑熱、ライム病等の感染症も媒介することが知られています。

SFTSについて詳しくは厚生労働省のホームページへ [SFTS 厚生労働省](#) [検索](#)

京都府 SFTSを予防するには・・・裏面へ→

ネコの適正飼養の意味合いも強い。

2023(R5)年 ワンヘルスの啓発チラシ作成

イヌ編、ネコ編、ヒト編からなる

マダニによる感染症 大丈夫?

～ イヌ編 ～

✓日頃から予防しましょう!

日頃から、ペットには、動物病院と相談してマダニ予防薬を処置してください。
(予防薬は、首輪タイプ、スポット、スプレー、飲み薬などがあります)

ノミ取り首輪 スポット スプレー式 服用薬

✓散歩から帰ったらチェックしましょう!

散歩から帰った後、犬の耳、目の周りなどや顔、お腹、足回りなどにマダニが付いていないか確認しましょう。(目の細かいクシでブラッシングすることも効果的です)

※チェック! ダニの寄生しやすい主な部位!

目の周り 耳 足回り お腹

ペットがマダニにさされたら...

マダニが皮膚内に食いついている場合は、無理に引き抜かず、動物病院へ!
発熱などの症状が見られた場合も動物病院を受診してください。

●あなたのお近くの動物病院は

QRコード 京都府獣医師会動物病院リスト 検索

～ ネコ編 ～

2017.7.25 朝日新聞

猫にかまれて発症? 死亡した新聞記事

た新新聞記事

2017.7.25 読売新聞

マダニが噛んでいます!!

★ネコちゃんの幸せのために 完全室内飼育をしましょう!

外飼いのネコちゃんには 危険がいっぱい!!

猫の屋外での放し飼いは、ダニの寄生だけではなく、交通事故、迷子、猫の感染症(猫白血病、猫エイズなど)など危険がいっぱい!

●交通事故死亡した猫の推計頭数

●保護・引き取られた猫の殺処分頭数

5,601匹 481匹

参考(京都府・京都市 令和2年度データ)

～ ヒト編 ～

★人もダニに注意しましょう!

春から秋にかけてキャンプ、ハイキング、農作業など、山や草むらで活動する機会が多くなる季節です。
野山に生息するダニにさされることで
重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、ダニ媒介脳炎、日本紅斑熱、つつが虫病、ライム病などに感染することがあります。

ダニにさされないためのポイント!

- 肌の露出を少なくする
⇒ 帽子、手袋を着用し、首にタオルを巻く等
- 長袖・長ズボン・登山用スパッツ等を着用する
⇒ シャツの裾はズボンの中に、ズボンの裾は靴下や長靴の中
- 足を完全に覆う靴を履く
⇒ サンドル等は避ける
- 明るい色の服を着る(マダニを自視で確認しやすくなるため)
* 上着や作業着は家の中に持ち込まないようにしましょう
* 屋外活動後は入浴し、マダニにさされていないか確認をしましょう
特に、わきの下、足の付け根、手首、膝の裏、胸の下、腰部(髪の毛の中)などに注意

ダニにさされたときの対処法

- 無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科など)で処置
⇒ マダニの除去、洗浄などをしてもらいましょう。
- マダニにさされた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診察を受けて下さい。

【受診時に医師に伝えること】

- ① 野外活動をした日
- ② 場所
- ③ 発症前の行動

ペットボトルのキャップ m3cm m0.5cm m1.5cm マダニ(吸血前) マダニ(吸血後)

ペリ ホームページでもご確認いただけます。 QRコード ダニ媒介感染症 検索

啓発の広がり

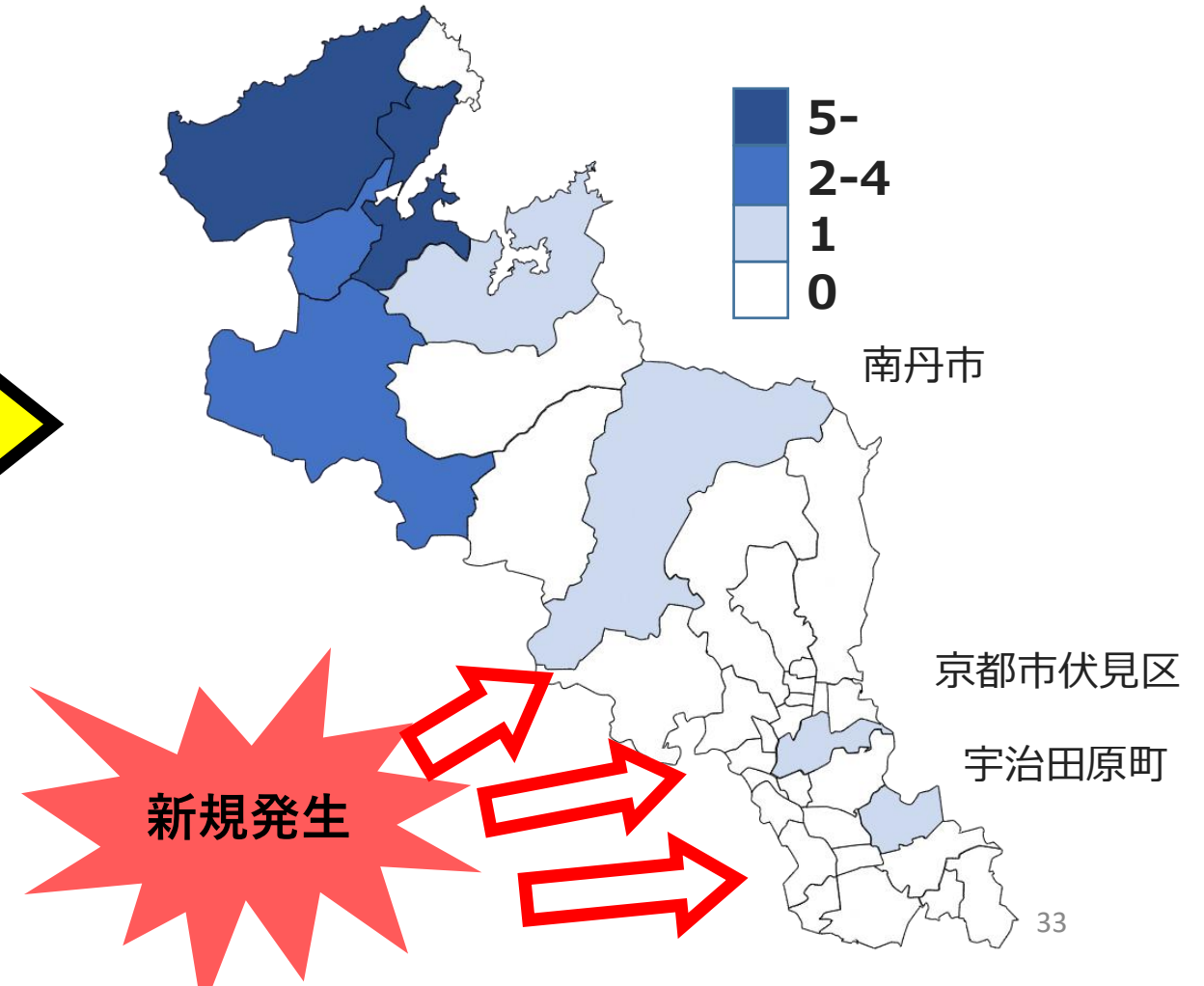
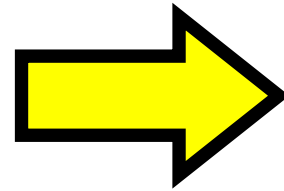
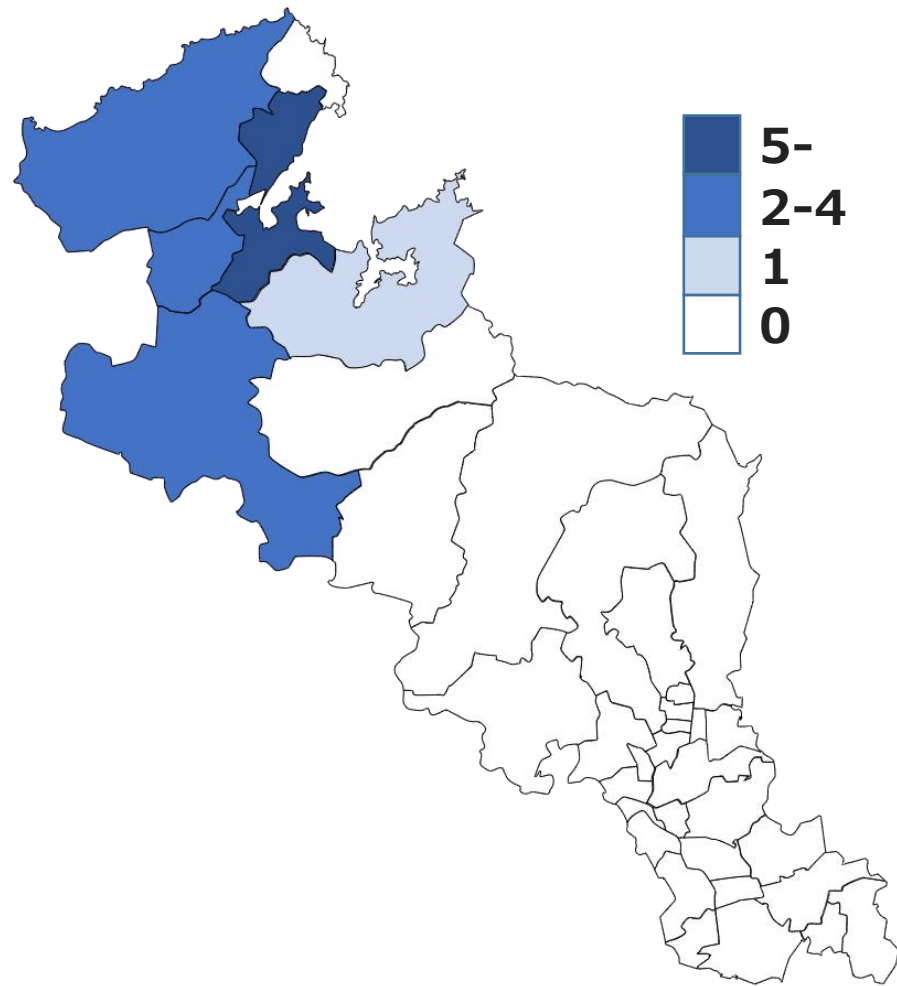
- 府内 全動物病院 (90施設)
- 府内 全市町村 (京都市除く) (25市町村)
- 府内 保健所(衛生課) (7保健所)

- 府 保健所(保健課)
- 府 医師会(感染症部会)
- 府 南部地域 医療機関の感染症担当者
- 府北部地域 猟友会
- 京都子育てピアサポートセンター

動物側でリスクが示唆された地域で、その後ヒトのSFTSを確認 ヒトのSFTSの推定感染地域

(n=17, 2013-2025年7月)

(n=22, 2013-2026年7月)



2025(R7)宇治田原町の例

2016(H28)年

2018(H30)年

2024(R 6)年

管轄保健所由来のイヌにおいて、SFTSV抗体陽性事例

2025(R 7)年 宇治田原町において、初めてヒトのSFTSの発生報告

The screenshot shows the homepage of the Kyoto Prefecture Infection Information Center. The header includes navigation links: トップページ (Top Page), 感染症発生動向 (Infection Occurrence Trends), 疾患別情報 (Information by Disease), 学校等欠席者情報 (Information on Absentees at Schools, etc.), 過去の情報 (Past Information), and 資料・リンク集 (Materials and Link Collection). The main content area features a blue banner with the headline "京都府南部で初めてSFTSの報告がありました！（2025年7月31日）" (SFTS reported for the first time in the southern region of Kyoto Prefecture! (July 31, 2025)). Below the banner, the text states: "SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は、病原体を持ったマダニに刺されることでヒトに感染する感染症です。2025年7月に、感染したと推定される地域が京都府南部（宇治田原町）であるSFTSの報告がありました。京都府南部の報告はこれまでに初めてですので、南部地域でもマダニに刺されないよう、注意が必要です。" (SFTS (Severe fever with thrombocytopenia syndrome) is an infectious disease that infects humans by being bitten by a tick carrying the pathogen. In July 2025, SFTS was reported in the southern region of Kyoto Prefecture (Uji-Tahara Town), which is the first report in the southern region of Kyoto Prefecture. Therefore, please be careful not to be bitten by ticks in the southern region.)

R7. 7. 31
京都府HP

2026(R8)南丹市の例

2021(R3)年 南丹地域のイヌにおいて、SFTSの発生報告

2023(R5)年

2024(R6)年

南丹地域のネコにおいて、SFTSの発生報告

2026(R8)年 南丹市において、初めてヒトのSFTSの発生報告

The screenshot shows the homepage of the Kyoto Prefecture Infection Information Center. The header includes navigation links: トップページ (Home), 感染症発生動向 (Infection Incidence Trends), 疾患別情報 (Information by Disease), 学校等欠席者情報 (Information on Absentees at Schools, etc.), 過去の情報 (Past Information), and 資料・リンク集 (Materials and Link Collection). The main content area features a large blue banner with the headline: 京都府南丹地域で初めてSFTSの報告がありました！（2026年7月） (SFTS was first reported in Nantan, Kyoto Prefecture in July 2026!). Below the banner, the text states: SFTS（重症熱性血小板減少症候群）は、病原体を持ったマダニに刺されることでヒトに感染する感染症です。2026年7月に、感染したと推定される地域が京都府南丹地域であるSFTSの報告がありました。京都府南丹地域での報告は今回が初めてです。草むらや藪に入る際は、マダニに刺されないよう注意しましょう。 (SFTS (Severe fever with thrombocytopenia syndrome) is an infectious disease that infects humans by being bitten by a tick carrying the pathogen. In July 2026, SFTS was reported in Nantan, Kyoto Prefecture, which was estimated to be the area where infection occurred. This is the first report of SFTS in Nantan, Kyoto Prefecture. When entering grassy areas or brush, please be careful not to be bitten by ticks.)

R8. 7. 28
京都府HP

2026(R8)年 府医師会・獣医師会・保健環境研究所・動物 愛護センター、府庁内関係課合同会議



2026. 8. 13開催

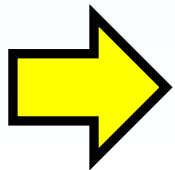
連携ケース1

A市で初めて確認された
猫SFTS事例における関係機関の連携事例

経過 1

- 4月28日 動物病院に猫が来院、入院

- ネコ 雑種、避妊済みメス、7歳、3kg
- 主訴 10日前から元気消失、食欲低下
一昨日家出して、昨日戻ってきたが呼吸促迫
- 状況 発熱
血小板 減少、白血球数 減少
腎機能 低下



SFTSを強く疑った。

経過 2

同日 動物病院から市へ相談。市から保健所へ照会

Q • SFTSであった場合、動物の死体の取り扱い
及び 使用した資材の処理方法は？

A • 死体を取り扱う際、死体は二重密封し、
手袋やマスクを着用すること。
• 処置に使用した汚染資材については、
感染性廃棄物に準じて処理すること。

経過 3

- 4月28日 市から動物病院へ回答
- 同 日 市からクリーンセンターへ情報提供
- 4月30日 猫が死亡、飼い主に返還
- 同 日 クリーンセンターへ飼い主が持ち込み（火葬日は不明）

経過 4

- 5月1日 SFTS陽性確定
- 同 日 動物病院から保健所へ情報提供
- 同 日 動物病院から市へ情報提供
- 同 日 保健所からA市立病院へ情報提供、情報共有

「A市で動物のSFTS症例が確認されており、市内でのSFTSV保有マダニの存在が示唆されます。類似症状の診断時は、SFTSもご考慮ください。」

- 同 日 保健所 から動物病院へ注意喚起

「飼い主や獣医療従事者が体調不良になった場合は、事前に病院にSFTS感染猫と接触した旨を連絡してから受診してください。」

連携ケース2

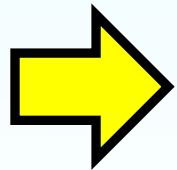
SFTS陽性猫の診療時に発生した暴露懸念事例

経過 1

- 5月22日 府北部地域の動物病院に猫が来院、入院

- ネコ 外飼いネコ、1歳オス、
- 主訴 歯肉から出血。
(飼い主にも血液が濃厚に付着した状態で来院)
- 状態 発熱、血小板減少、白血球数減少

臨床症状からSFTSを疑った。



診察中、獣医師(50代)がゴム手袋越しに
猫に引っかけられ、皮膚から出血

経過 2

5月25日 診察したネコがSFTS陽性と判明し、保健所に相談

Q

- SFTS陽性ネコにひっかかれて出血をした。
- 発症した場合、どうすればよいか。

A

- 保健所は、本庁と連絡をとり、ファビピラビルの処方できる医療機関を確認
- 保健所から医療機関に情報提供。
- 獣医師に発症時の対応医療機関を紹介。

経過 3

- 6月 5日 最終曝露から14日間経過。
獣医師・飼い主とも発症なし
- 6月11日 ネコも動物病院を退院

2事例のポイント

- ・ 本事例は、統一的な対応マニュアルに基づくものではなく、動物病院を起点に、市町村、保健所、医療機関がその都度相談しながら連携して対応した一事例
- ・ ヒトへの感染が疑われる事態に備え、早期に医療体制を確認できた
- ・ 平時からの関係機関の連携が、発生時の迅速な対応につながった

動物病院は予防啓発の重要な拠点

- ・ イヌ・ネコの飼い主が日常的に来院するため、マダニ対策を直接伝える機会が多い。
- ・ 動物へのマダニ予防は、動物の健康だけでなく、人の感染リスク低減にもつながる可能性。
- ・ サーベイランスへの協力に加え、地域における予防啓発の担い手としても期待

様々な機会をとおして、啓発実施



動物のサーベイランスから見えてきたこと

- ❁ 人の患者発生だけではなく、人と動物の双方からアプローチすることで、地域の感染症リスクを早く、広く捉えられる可能性がある。
- ❁ 京都府では、そのための仕組みとして、ワンヘルス・アプローチを20年以上続けてきた。
- ❁ SFTSは、その意義を具体的に示す代表的な事例であると考えられる。

今後に向けて

- ❁ 今後も、動物由来感染症の発生情報を収集・分析し、流行の兆候を予測、その結果を連絡調整会議で共有し、啓発につなげるワンヘルス・アプローチを府域で着実に推進していきたい。